

・自然通信員一季節のスケッチ

早春

3月

・ウグイスカグラの咲くころ一駒場野の里地に春を探す
駒場野公園の雑木林では初音の舞台を演出するようにウグイスカグラの花が咲き出します。人の手で守り育てられる雑木林や田んぼに、「春-春!」のいきものたちとのすてきな出会いがあります。



キジバトの求愛飛行。



こんな出会いも…
ボランティアリーダー 麻生さん。
「クスギの梢に群れるレンミヤク
との思いがけない出会い。
駒場野の自然に魅せられ、
自然クラブ活動に参加
するようになりました。」

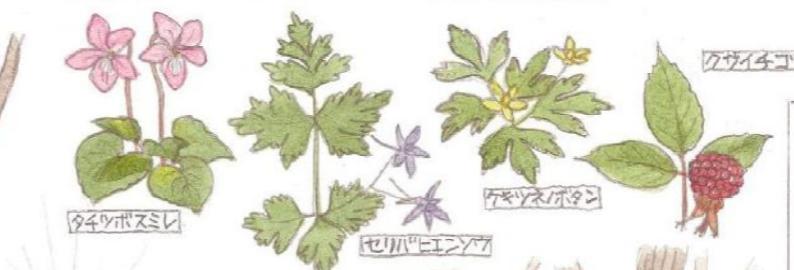
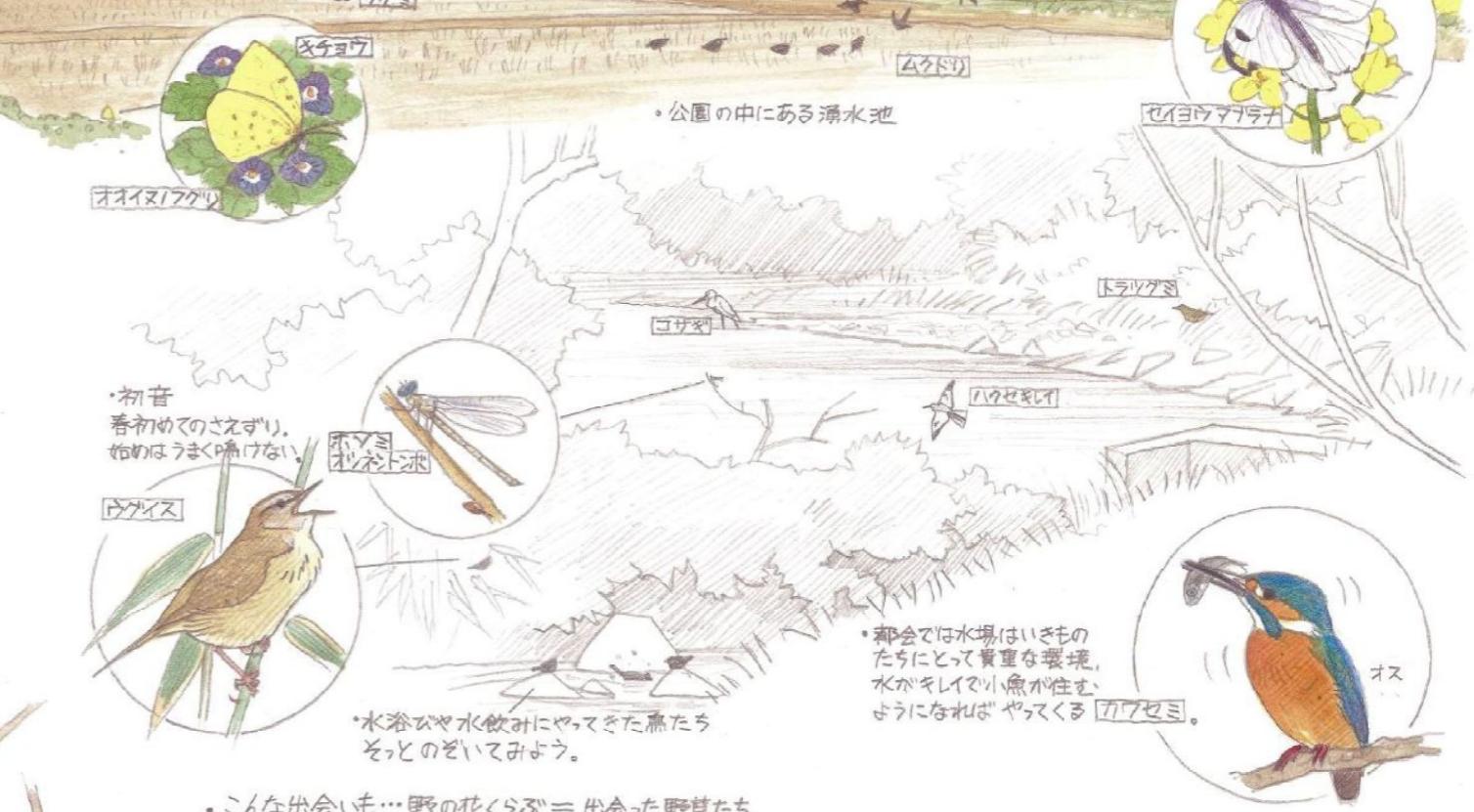


アカハラ



野の花くらぶ

・春の田んぼ。



・駒場野自然クラブ
競争の参加により、雑木林の更新、落ち葉かき、
干し柿作りなど、かわでの里地の暮らしを体験
しながら環境を学び、公園の自然を保全する
活動を続けています。

・新しい芽が出来るように切り株を残して伐採
されたクスギやコナラの幹は、その栽培用
の「まだ木」に。使用後はクラゲなどが
越冬用に使ってます。



・毎年、切った枝にシタケ
の駒打ちをしています。

8・いきものたちを見わける

いきものを観察し、名前を知ることは、とても楽しいことです。でも、いきものにはよく似た種類がいて、見わけるのは難しいもの。最初から、細かく調べるのではなく「○○のなかま」「○○に似ている」というふうに、大まかな見わけ方を覚えて、少しづつ慣れていくことが大切です。また、観察会に参加して、

詳しい人に見わけ方などを聞くのも良い方法です。記録として残すときは、間違った名前にしてしまうと、資料としての価値がなくなってしまうこともあります。種類が決められないときは「○○のなかま」「○○に似ている」という表現にしておくとよいでしょう。



●名探偵になって観察しましょう

いきものたちは、いろいろな方法で『自己紹介』をしています。人間の言葉を話すわけではありませんが、からだの色や形の特徴のほか、声や活動する時に出る音、香りやにおいで自分の特徴を伝えていることもあります。名探偵になったつもりで、さまざまな手法を使って観察をしてみましょう。自然を壊さない、やさしいきもち(P.48)を持てば、いきものたちは、たくさん『自己紹介』をしてくれるはずです



●体の呼び方(名称)を知りましょう

どこが、どんな風だったかを記録するときに、体のつくりや部分の名前を知ると良いでしょう。『後ろばね』に白い斑点のあるチョウ、『あし指』が黄色いサギ、といった具合です。動植物図鑑などには、体の部位の呼び名がわかりやすく書かれているものがありますので、図書館などで調べてみましょう

●いきものを『ものさし』として使いましょう

大きさ(体長など)は、名前を知る大きな手がかりになります。昆虫やクモは定規で実際に体の大きさを測りましょう(体長は、いきものの種類によって測り方や部分が違いますので要注意)。測ることが難しい場合には、日ごろよく見ているいきものを『ものさし』として使うと便利です。鳥の場合、身近に見ることの多いメジロ、スズメ、ムクドリ、キジバト、カラス、コサギなどを「ものさし」にして、『すずめより大きく、ムクドリよりは小さい』のように比べてみましょう



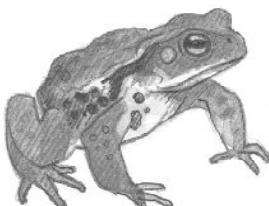
●似たものどうしを比べてみましょう

ハルジオンとヒメジョオン、キアゲハとナミアゲハ、ハシブトガラスとハシボソガラスなど、身近に見られるいきものには、とてもよく似たものがあります。ふだん見る機会の多いもので、区別する方法をしっかりと練習しておきましょう。似ているものを区別するときは、歩いたり飛んだりするしぐさ(行動)や、何を食べていたのかなど、いろいろな観察がヒントになって、種類がわかることもあります



●デジタルカメラを活用しましょう

手に持って見比べることのできないものは、写真を撮るのもよい方法です。チャンスがあればカメラを向けてみましょう。小さなものを撮るときは、マークの接写機能を使いましょう。写真のほか動画や音を残すことができるカメラもあります。画像や動画、音声として記録してみましょう。デジタルカメラは、撮影した日にちや時間も自動的に記録されています。いきものの写真のほか、周りの環境なども撮影しておきます。また、家に帰つてから撮影日・場所などの整理も欠かさないようにしましょう

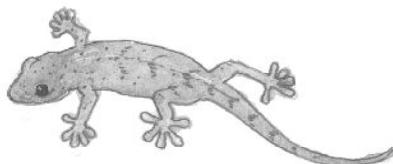


●スケッチをしてみましょう

観察メモといっしょに、できれば、いきものを観察して絵に描いてみましょう。絵に描くためには、「葉や花の形の違い」「虫の身体の仕組み」「足の数」など、詳しく見ることが必要になります。植物などの特徴は、写真でとることは難しく、スケッチのほうが向いています。自然観察に出かけるときは、フィールドノート(観察ノート)を忘れないようにしましょう。一度、絵に描いたものは、きっと記憶に残ります

●なぜ?なぜ?

わからないこと、「なぜだろう」と思えることは、図鑑やインターネットで調べてみましょう。調べるうちにいろいろな発見があることも観察する面白さです。学校やグループによる観察では、みんなで話し合ってみましょう。自分だけでは気付かなかったこと、違う見方など、多くの目で見ることも、いきものを理解するための助けになってくれます



自然通信員・季節のスケッチ

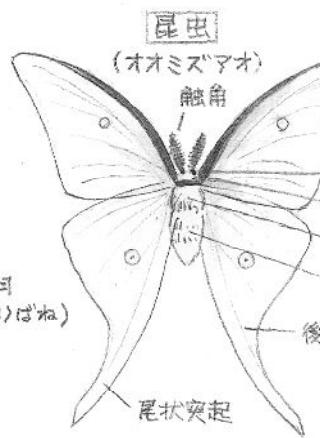
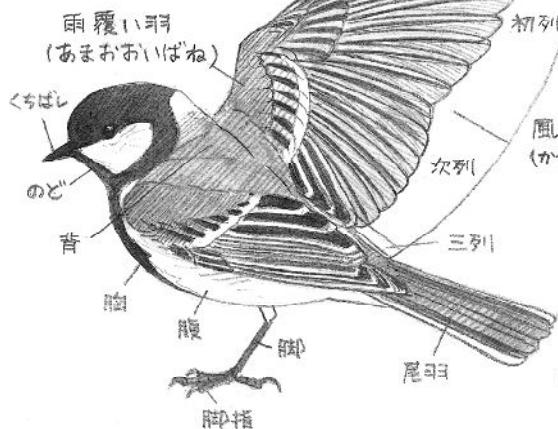
・いきものたちを見わける

いきものたちはいろいろな方法で「自己紹介」をしています
ここにあるヒントを参考にいきものの名前を調べてみましょう



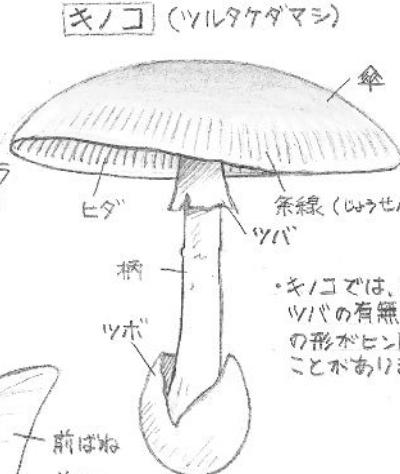
・ホオジロもシジュウカラ
ちどりともほおが白
い鳥。
(ホオジロは日高区
では少ない鳥)

鳥 (シジュウカラ)



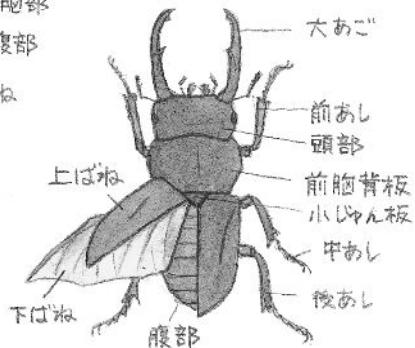
昆虫 (オオミズアオ)

・からだの呼び方を知る



・キノコでは、ツボや
ツバの有無やひだ
の形がヒントになる
ことがあります

昆虫 (コクワガタ)



・いきものをものさしに使う

大きさ(体長など)は、名前を知る大きな手がかり
鳥などは、日ごろよく見ている種類をものさしにして
みましょう。



メジロ 体長 12cm



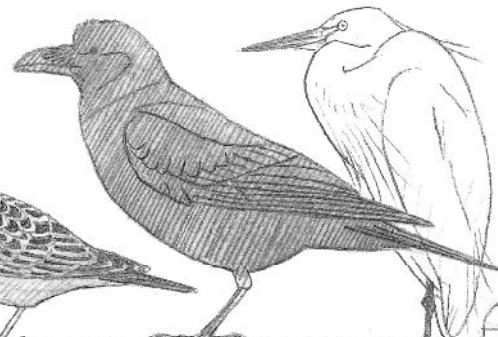
スズメ 体長 14cm



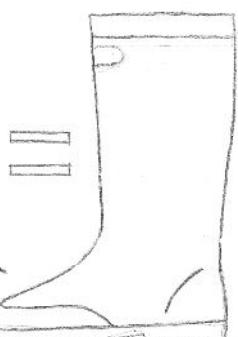
ムクドリ 体長 24cm



スジバト 体長 33cm



ハシブトガラス 体長 57cm



コサギ 草をちぢめたところ

・似たものどうしを比べる

ヒヨドリ

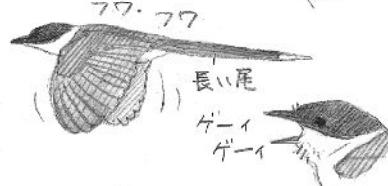


波状飛行



ヒーヨー

オナガ



フワ・フワ

長い尾

ゲーイ ゲーイ

ムクドリ



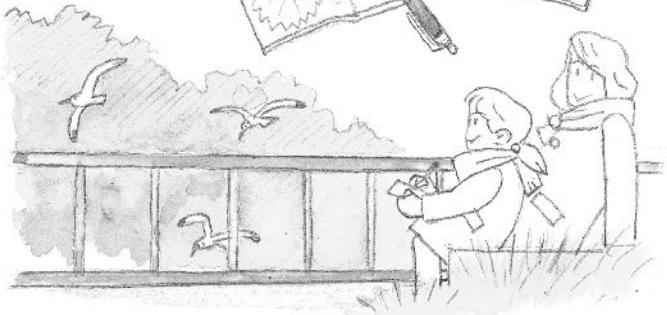
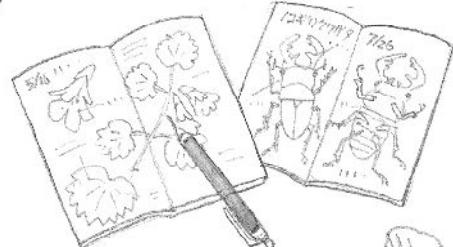
直線飛行

黄色

・体の特徴のほかに、声や歩いたり飛んだりする動作も
観察してみましょう。

・スケッチをしてみる

たとえば、植物の特徴は写真で撮ることは難しいもの。
花や葉をフィーリードノートに描いて種類を見分ける手が
かりにしましょう。



9 持ち物チェック・リスト

□やさしいきもち

人間は、さまざまな形で自然に影響を与えています。自然と触れ合うときには、できるだけ、いきものたちの暮らしを壊さないように気をつけましょう。手にとって見た後は、傷つけないように元の場所に戻し、持ち上げた石や枯れ枝も元の状態に戻しましょう。野鳥の巣や卵を見つたら近づかず、物陰や遠くからそっと見るようにしましょう



そっと、観察しよう！

□観察マナー

環境学習や種類を知るために採集が欠かせないこともあります、できるだけ「そのままの姿」を観察しましょう。やぶの中や保護地など、道を外れたり、立ち入り禁止の場所にはいらないようにしましょう。公園や寺社などは、施設管理の決まりを守ります。ゴミは、鳥などが誤って飲んでしまうなど自然への影響が大きく必ず持ち帰りましょう



ゴミは持ち帰ろう！

□無理のない計画

気持ちや時間にゆとりがないと、いろいろな事故の元になります。自然観察の計画を立てるときは、余裕のあるスケジュールを組みましょう。こどもたちは、先生や保護者と一緒に活動し、初めて行く場所は充分に下調べをしましょう

□安全の心がけ

自然の中には、人にとって危ないいきものもいます。正しい知識を持ったリーダーに従います。スズメバチなど、驚かせると危険を感じて襲ってくることがあります。騒いだり、音を立てたりしないで、静かに観察しましょう。昆虫ではチャドクガなど、植物ではウルシ類、イチョウの実(ギンナン)など触るとかぶれことがありますので、十分に注意しましょう。道路沿い、線路沿い、水辺、崖地など、危険があると思われる場所には、観察したい動植物が見つかっても、絶対に近くに行かないようにしましょう

□観察ノート

小さなノート

□筆記用具

ぬれても書けるので鉛筆がベスト

□図鑑・ガイド

ポケット図鑑・地図など

□虫めがね

植物や昆虫などの観察に必需品

□水筒

季節にかかわらず必要

□モノサシ

小さい定規など

□ビニール袋

ごみなどを入れる

□輪ゴムや紐

観察時に枝をとめたりする

□コンパス

地図の方位やいきもののいた方角を知る

□カメラ

いきものや環境を記録

□上着

長袖やえり付きは、とげやかぶれ予防

□靴など

ボケットの多いもの

丈夫で滑らない靴底の物。紐靴が安全

帽子も必需品

□リュック

歩くときは両手が使えるように

□その他

軍手・雨具・懐中電灯・救急セットなど

-
-
-
-
-
-



リュックの中は・・・